

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	牧
	全体計画						経費区分		-		内線	3645
事務事業名	12178 親子通園事業											
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課											
施 策	02020900 子育て環境の整備											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	030208 民生費・児童福祉費・親子通園施設費										
	事業	020000 親子通園事業										
事業目的						事業概要・効果						
心身に障がいのある児童や発達に支援を必要とする児童が、保護者とともに通園し、機能訓練及び生活指導を通して生活に必要な力を向上させる。また、その保護者に対して相談に応じる等の支援を行い、総合的に児童の育成支援を図る。						心身に障がいのある児童や発達に支援を必要とする児童の保育、機能訓練及び生活指導を行い育成を促すことができた。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
	利用延人数 332人
平成26年度 実績	平成27年度 予定
利用延人数 835人	

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		330	360
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		330	360
人員数(人)	正規職員	2.2	2.2
	嘱託職員	0.0	1.1
	臨時職員	0.0	0.9
人員コスト	正規職員	15,087.6	15,087.6
	嘱託職員	0.0	2,997.5
	臨時職員	0.0	1,059.3
	計	15,087.6	19,144.4
市民一人当たりの経費		0.3	0.4
総額		15,417.6	19,504.4

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	120	音楽療法士謝礼
11節 需用費	129	くれよん教室教材用消耗品
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	81	郵便料、電話料

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	130	音楽療法士謝礼
11節 需用費	147	くれよん教室教材用消耗品
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	83	郵便料、電話料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	心身に障がいのある児童や発達に支援を必要とする児童には、必要不可欠な事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	作業療法や音楽療法等を実施し、効果を上げている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	必要最低限の経費で運営されている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

心身に障がいのある児童や発達に支援を必要とする児童の保育、機能訓練及び生活指導を行い育成を促すことができた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

発達に支援を必要とする児童まで受入れを拡大し、保護者ともども寄り添った支援が行われている。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

発達上、支援を必要とする児、その保護者への機能訓練や生活指導等を通じ、個別の支援が実施できている。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--